

S E R I NEWS RELEASE

平成20年2月21日
財団法人 静岡経済研究所
理事長 古知弘行

〒420-0853 静岡市葵区追手町1-13
アゴラ静岡 5階

TEL 054-250-8750
FAX 054-250-8770

定例調査

第17回 静岡県版「景気ウォッチャー調査」結果(平成20年1月実施)

原材料の高騰、物価の上昇など 好材料はみられず、景況感は大きく後退

分野別にみる景気判断指数(D.I.)

(D.I.)	(後退)					(横ばい)(改善)					D.I.数値		
	20	25	30	35	40	45	50	55	現状判断	先行き判断	回答者数		
全 体			●	○					31.6	35.2	103		
家計消費関連			●	○					31.9	35.6	80		
小売関連			○	●					34.7	32.3	31		
飲食関連			●	○					30.6	33.3	9		
サービス関連			●		○				32.0	42.2	32		
住宅関連	●	○							21.9	25.0	8		
事業所向けビジネス関連			●	○					32.8	34.4	16		
雇用関連		●	○						25.0	32.1	7		

● 現状判断(3カ月前と比べた現在の景気) ○ 先行き判断(現在と比べた2~3カ月先の景気)

3カ月前との比較でみた景気の「現状判断指数(方向性)」は31.6と、“景気横ばい”を示す指数「50」を昨年7月調査以降3期連続で下回り、調査開始(平成16年1月)以来最も大きな後退を示した。原油高を中心とした諸経費増加の影響が大きく、前回調査(40.3)と比べ8.7ポイント下降している。

また、2~3カ月先の「先行き判断指数(方向性)」も35.2で、前回調査(47.8)と比較して12.6ポイント下降しており、原燃料価格上昇などによる企業収益圧迫、さらには物価の上昇が身の回り品にまで波及するなど、家計の消費マインドを後退させる要因が相次ぎ、景気の悪化を懸念する声が多い。

一方、現時点での景気の「水準判断」も29.4と、前回調査(42.5)を大きく下回った。分野別でも、最も高い事業所向けビジネス関連でも36.0と、「50」を大きく下回っており、景気が悪いと感じる回答が大勢を占めた。

「現状判断」は31.6と、景況感はさらに後退

今回調査（平成20年1月実施）では、景気が3カ月前と比べて“良くなっているか悪くなっているか”を聞いた「現状判断指数」は31.6となり、昨年7月調査以降、3期連続で指数「50」を下回る大きな後退を示した。調査開始（16年1月）以来でも最も大きな後退で、前回調査（40.3）からさらに8.7ポイント下降している（表題図、図表1）。

分野別の動向

家計消費関連（D.I.=31.9）・・・家計消費関連全体では31.9と、前回調査（39.9）に比べ8.0ポイント下降した。全体的に消費マインドの減退を示すコメントが目立ち、小売関連（34.7）では、「度重なる産地偽装、食品表示偽装によりギフト需要が落ち込んでいる」（食品販売店）飲食関連（30.6）では「消費財に回す金額が低下しており、消費者が価格に敏感になり、選別の目が厳しい」（飲食店）などの声が挙げられている。住宅関連（21.9）でも、「受注量、受注見込みとも減少」（住宅販売）などの厳しい意見が挙がっている。一方、サービス関連（32.0）では、「若年層の来場増加」（ゴルフ場）など、わずかながら明るい話も出ている。

事業所向けビジネス関連（D.I.=32.8）・・・現状判断指数は32.8と、前回（44.4）を11.6ポイント下回った。「売買を目的とする所有登記申請の件数が減少している」（司法書士事務所）「販売催事などは苦戦している様子」（催事場）など、景気の減退を示すコメントが多くなっている。

雇用関連（D.I.=25.0）・・・現状判断指数は25.0と、前回（36.1）と比べ11.1ポイント下降した。「有効求人倍率は上昇傾向にあるものの、会社都合の離職者も、前年に比べ増加傾向にある」（職業紹介）「求人が増える話よりも、契約満了で人員を削減する話が多い」（人材派遣）など、雇用情勢の陰りを指摘する声がみられた。また、「人手は欲しいものの、先行き不安のため、採用に踏み切れない事業所が多い」（職業紹介）などの意見もあり、企業側の苦悩もうかがえる。

「先行き判断」は35.2、現状判断とともに調査開始以来最低

一方、2～3カ月先の景気が今月と比べて“良くなるか悪くなるか”を聞いた「先行き判断指数」も35.2となり、前回（47.8）に比べて12.6ポイント下降した（表題図、図表2）。「悪くなる」「やや悪くなる」と回答した割合は57.3%と過半数を占めており、景気の先行きについても悪化を懸念している回答者が多い。

分野別の動向

家計消費関連（D.I.=35.6）・・・家計消費関連全体では35.6と、前回調査（49.4）

図表1 現状判断指数D.I.の推移

	H18.1月	H18.4月	H18.7月	H18.10月	H19.1月	H19.4月	H19.7月	H19.10月	H20.1月	
									今回	前回比
全体	61.4	59.3	52.3	50.7	52.5	51.0	47.7	40.3	31.6	8.7
家計消費関連	59.3	57.9	50.6	49.7	52.7	48.1	47.2	39.9	31.9	8.0
小売関連	60.8	55.7	52.8	50.0	49.3	47.1	43.8	39.3	34.7	4.6
飲食関連	54.2	62.5	55.0	42.9	61.1	54.2	55.6	40.6	30.6	10.0
サービス関連	58.6	59.1	46.1	50.0	53.2	48.4	48.3	40.3	32.0	8.3
住宅関連	58.3	57.1	54.2	53.6	57.1	45.0	50.0	40.0	21.9	18.1
事業所向けビジネス関連	65.8	61.8	61.8	50.0	50.0	58.8	48.7	44.4	32.8	11.6
雇用関連	70.0	65.9	50.0	60.0	55.6	62.5	50.0	36.1	25.0	11.1

図表2 先行き判断指数D.I.の推移

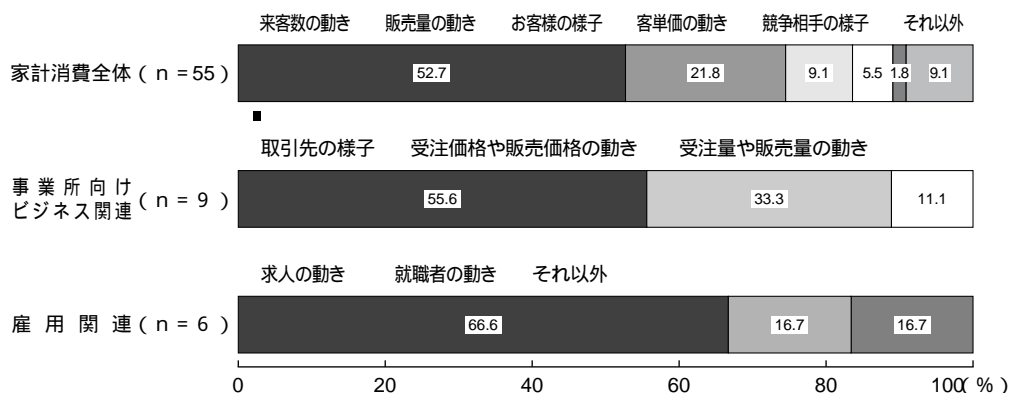
	H18.1月	H18.4月	H18.7月	H18.10月	H19.1月	H19.4月	H19.7月	H19.10月	H20.1月	
									今回	前回比
全体	60.7	57.2	53.2	57.2	55.1	51.2	49.8	47.8	35.2	12.6
家計消費関連	61.4	57.1	53.9	59.5	55.7	51.3	50.3	49.4	35.6	13.8
小売関連	64.2	55.7	52.1	61.8	55.4	52.1	47.2	45.7	32.3	13.4
飲食関連	58.3	62.5	55.0	60.7	44.4	54.2	50.0	57.1	33.3	23.8
サービス関連	57.8	54.5	55.5	57.8	60.5	51.6	55.0	53.3	42.2	11.1
住宅関連	66.7	67.9	54.2	53.6	50.0	40.0	45.0	40.0	25.0	15.0
事業所向けビジネス関連	60.5	57.9	54.4	47.4	53.9	51.5	51.3	47.2	34.4	12.8
雇用関連	55.0	56.8	44.4	57.5	52.8	50.0	41.7	36.1	32.1	4.0

に比べ 13.8ポイント下降した。内訳をみると、小売関連やサービス関連では、「新入学や新社会人などにより、来客数が伸びそう」(文具販売)、「暖かくなるにつれて、客足は例年伸びてくる」(旅館)などの季節要因による押し上げを期待するコメントもあるが、「ガソリン価格の高騰で消費者の外出、購買意欲が低迷する」(自動車販売)など、原油高を中心に物価上昇の影響を懸念する声強い。なかでも住宅関連は、「建設資材の高騰、建築基準法改正に伴う着工の遅れ、大手建設会社の進出」(住宅販売)などの不安材料から、25.0と部門別で最低の数字となっている。

事業所向けビジネス関連 (D.I. = 34.4)・・・事業所向けビジネス関連では、先行き判断は34.4と、前回(47.2)より 12.8ポイント低下した。「年明けの景気低迷の動きから、発注を控える動きが起こる可能性がある」(印刷)や、「原油高、サブプライム問題などによる企業の設備投資減少が懸念される」(リース)、「原材料等の高騰は著しいが、受注単価は据え置きまたは下落」(給食弁当)など、経営環境の悪化を危惧する声が多く聞かれた。

雇用関連 (D.I. = 32.1)・・・雇用関連は32.1と、前回(36.1)より 4.0ポイント下降した。「新規求人数・新規求職者数がともに前年比で減少しているが、求人数の減少幅が大きい」(職業紹介)ことや、「各企業は先行き不安感を強く持ち、景気回復材料があまり見受けられない」(人材派遣)、「改善要素が見当たらない。求人者の視点で捉えれば昨年がピーク」(同)など、好材料がないという声が多い。

図表3 「景気が(やや)悪くなっている」と判断した理由



nは、現状判断で“(やや)悪くなっている”と回答した先数(判断理由の無回答・複数回答先を除く)

来客数と販売量の減少が企業経営を圧迫し、景況感は悪化

次に、景気の現状判断(方向性)が3カ月前と比べて“(やや)悪くなっている”としたウォッチャーに、その判断理由を聞いたところ、家計消費関連では、「来客数の動き」(52.7%)、「販売量の動き」(21.8%)との回答が多く挙がった(図表3)。また、事業所向けビジネス関連では「取引先の様子」、雇用関連では「求人の動き」が、それぞれ回答の過半数を占めた。

家計消費関連における「来客数の動き」では、「3カ月前に比べると、各商店の来客数が減少している」(商店街)や、「自動車販売店は3月決算の時期を迎えているが、昨年に比べ来客数が極端に少ない」(自動車販売店)、「販売量の動き」では、「売上が減少している。とくに大衆商品の売上の落ち込みが大きい」(靴・靴販売店)などの声が挙がっており、消費者の購買意欲が減退しているという意見が多い。

また、事業所向けビジネス関連をみると、「取引先の様子」では「原油価格の値上がりにより、製造業の材料仕入れ価格も上がっており、利益率が下がっている」(税理士事務所)、「受注価格や販売価格の動き」では、「企業の人件費削減は限界、これでは個人消費が伸びるはずはない」(給食弁当)などの声が聞かれた。

さらに雇用関連では、「新規求人数の対前年同月比が10カ月ぶりに減少」(職業紹介)、「製造業を中心に派遣依頼が減少傾向にある。また、各企業とも先行き不安により、短期の派遣依頼が中心」(人材派遣)、「中小企業経営者の採用における慎重な言動が増えている」(同)など、企業の景況感は悪化傾向にあるとみられる。

以上、物価の上昇が生活関連商品にまで及んでいることや、ガソリン高による消費者の外出控え、さらには住宅着工数の減少などにより、景気が「悪い」と感じるウォッチャーが多く、景況感は大幅に後退した(次頁 参考 参照)。個人所得の伸び悩み

に加え、株式市場の低迷が消費者に与える心理的な影響が大きく、買い控えが一層強まるとみている回答者が多い。また、原材料費の上昇に伴う諸経費の増加分の販売価格への転嫁は一向に進んでおらず、景気の先行きに不安を感じているとみられる。

参考 現時点での景気の「水準判断」は、30を下回る

今月の景気は“良いか悪いか”を聞いた、現時点での景気の「水準判断」は29.4となり、前回（42.5）から13.1ポイント低下し、現在景気が悪いと感じている回答者が、良いと感じている回答者を大きく上回った（**図表4**）家計消費関連（28.1）では、飲食関連を除く3つの分野で30を下回っているほか、事業所向けビジネス関連（36.0）雇用関連（28.6）とも、景気は悪いという回答が多くを占めた。

図表4 現時点での「水準判断」指数

分野	指数D.I.
全 体	29.4
家計消費関連	28.1
小売関連	28.2
飲食関連	30.6
サービス関連	27.4
住宅関連	28.1
事業所向けビジネス関連	36.0
雇用関連	28.6

調 査 の 要 領

- (1) 調査目的：景気に関連した動きを観察できる立場にある人の協力を得て、景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断を調査することを目的にしている。
- (2) 調査対象：家計消費、事業所向けビジネス、雇用など、経済活動の動向を敏感に反映する事象を観察できる業種から選定した担当者。

分 野	ウォッチャーの代表的な業種
家計消費関連	
小売関連	百貨店、スーパー、乗用車販売、書籍販売など
飲食関連	飲食店、割烹、居酒屋など
サービス関連	観光ホテル、旅行代理店、カルチャーセンターなど
住宅関連	不動産販売、住宅会社、住宅展示場など
事業所向けビジネス関連	印刷、広告、運輸、司法書士、情報サービスなど
雇用関連	人材派遣、職業安定所など

- (3) 調査方法：各企業の担当者に対するアンケート調査
- (4) 調査事項：現在の景気的水準について 景気の現状に対する判断（3カ月前との比較）
その判断理由と、追加説明および具体的状況の説明など（自由回答）
景気の先行きに対する判断（2～3カ月先の予想）
- (5) 調査時点：平成20年1月下旬
- (6) 回答状況：調査対象120名のうち、有効回答を寄せていただいた方は103名で、有効回答率は85.8%である。
*景気判断指数とは、景気の現状や先行きに対する判断を点数化（下表）し、それらに各判断の構成比（%）を乗じて指数（D.I.）化したものである。これにより、判断指数（方向性）においては、50を上回れば「改善」、下回れば「悪化」の傾向を示すこととなる。また、現在の景気（水準判断）については、指数が50を上回れば景気が「良い」、下回れば景気が「悪い」ということになる。

評 価	現在の景気（水準判断）	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い
現 状	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点 数		+1	+0.75	+0.5	+0.25	0